

◆第7回 物語文の分析的読解（2）／語句7（湯桶読み）

文章題では物語文を学習します。この回では、前回と同様、物語文を読むときの基本となる、場面・心情について学習します。

語句は湯桶読みの学習をします。訓読みと思ったら、音読みだったという漢字がありますので、ていねいに覚えていきましょう。

◆第8回 物語文の分析的読解（3）／語句8（三字・四字熟語1）

文章題では物語文を学習します。この回では、表情・行動から心情を類推することを中心に学習します。また、人物が多く登場しますので、だれの行動なのかをしっかりとおさえましょう。

語句は三字・四字熟語の学習をします。漢字で書けるようにするだけでなく、実際に例文を作成して意味もいっしょに覚えましょう。

◆第9回 物語文の分析的読解（4）／語句9（三字・四字熟語2）

文章題では物語文を学習します。この回では、前回に続き、表情・行動から心情を類推することを中心に学習します。

語句は三字・四字熟語の学習をします。意味や言葉を覚えるだけでなく、三字熟語の組み立てや、四字熟語の間違った漢字の訂正なども学習します。

◆第10回 物語文の分析的読解（5）／語句10（同音異義語・同訓異字）

文章題では物語文を学習します。この回では、場面分け・心情・行動をおさえ、作者の言いたいこと（主題）を読み取っていきます。

語句は同音異義語・同訓異字の学習をします。同じ読み方でも漢字は異なりますので、それぞれの漢字の意味をしっかりとおさえましょう。

4月は「小数のかけ算まで」と「百分率」「植木算」「数の範囲と概数」について学習します。どの単元においても、覚えなければいけない事柄や公式はいくつかありますが、最も大切なのは基本となる考え方を理解することです。単に「公式や解法を覚えておけばよい」というのではなく、「なぜこのような式・答えになるのか」というところまで理解を深めてもらいたいと思います。各回とも動画を見るだけで終わらずに、必ず自分の力で解いて確認をしてほしいと思います。また、テキスト後半に収録されている「補充問題」にもぜひ取り組んでください。

#### 動画視聴時のお願い

まずは自分の力で問題を解いてから動画を見ることをおすすめします。ただし、その単元の内容に関する予備知識が全くない場合は、動画から先に確認していただいて結構です。その場合、必ずもう一度解き直すとより定着が良くなります。また、先に問題を解いて間違えた場合も、動画を確認した後で解き直しをしてください。お子様が「解く→直す」の学習姿勢を4年生のうちに身につけることも大切です。

#### ◆第7回 小数と計算

小数の導入と小数のたし算・ひき算・かけ算を学習します。計算については、基本的に整数のときと同じ要領で行いますが、最後の小数点の扱いが、たし算・ひき算とかけ算では異なりますのでしっかりと理解してください。

○必ず押さえてほしい問題・・・1、2、3、4

○宿題・・・第7回補充問題

#### ◆第8回 割合

本格的な割合の学習は5年生で行いますが、この第8回は「百分率」に慣れてもらうことを目標に学習を進めていきます。どの問題においても「全体の量を100%とおく」ことを意識して解くようにしてください。将来的には(5年生になると)、かけ算・わり算を用いた式で解くことが多くなりますが、今回は割合に関する公式を活用するのではなく、「全体の量を100%とする」ことから解き進めるようにしています。

○必ず押さえてほしい問題・・・1、2、4、5

○宿題・・・第8回補充問題

## ◆第9回 規則性 I

「植木算」について学習します。植木算の最大のポイントは「木と木の間の数」に注目して考えることです。このことをしっかりと理解しましょう。また、木を植えるという設定ではなくても植木算の考え方を利用できる問題も数多くあります（テープをはり合せていく問題等）。植木算の考え方が応用できることをよく理解しておいてください。

○必ず押さえてほしい問題・・・1、2、3、4

○宿題・・・第9回補充問題

## ◆第10回 数の大小

今回は「およその数」や「概数」とよばれている数について学習します。まずは、「四捨五入」「切り上げ」「切り捨て」の意味とそれぞれの処理方法を正確に覚えてください。この単元の獲得目標は「問題で与えられた概数から、もとの数の範囲が求められる」ことですが、これはすぐには身につけにくいかもしれません。繰り返し練習して“慣れる”ことが重要ですので、ぜひ動画をうまく活用して粘り強く学習してください。

○必ず押さえてほしい問題・・・1、2、3、5

○宿題・・・第10回補充問題

## ◆第4回 平面図形(1)

### ① 【例題】と【練習】

【例題】はすべて動画が用意されています。

#### 【例題 1】 三角形・四角形の面積

面積とは、1辺1cmの正方形の面積を「 $1\text{cm}^2$ 」とし、その図形の「広さ」が何個分になるかをあらわしたものです。基本となるのは、長方形の面積と正方形の面積で、それぞれ「たての長さ×横の長さ」、「1辺の長さ×1辺の長さ」で求めることができます。

このことをふまえたうえで、

「平行四辺形の面積＝底辺×高さ」

「三角形の面積＝底辺×高さ÷2」

「台形の面積＝(上底＋下底)×高さ÷2」

「ひし形の面積＝対角線×対角線÷2」

であらわせることを理解しましょう。三角形では特に、底辺を決め、それに対する高さがどのようになるのかを考えることが大切です。

#### 【例題 2】 等積移動

図形のなかに「道路」などをつけたとき、分けられた部分を一体化することによって簡単に求める方法を学びます。動画をよく見て、一体化するイメージをつかんでください。

#### 【例題 3】 等積変形①

面積を変えずに図形の形を変えることを「等積変形」といいます。算数における等積変形の基本型はさまざまありますが、今回は複雑な形の面積を長方形化するという内容です。

#### 【例題 4】 長方形の重なりを考える

【例題 3】の等積変形①の応用です。まず文章であらわされた内容を図におこす必要があります。変形前と変形後の図を重ねることによって、共通部分以外のところについて、考えましょう。

各【例題】の動画を見て理解したら必ず【練習問題】に自力で取り組んで答え合わせをし、間違っていたらどこで間違ったかをよく確認して、再度解き直しをするということを徹底してください。わかりにくくなった場合は再度【例題】の動画を見てみましょう。

### ② 【練成問題】

【練成問題】はほとんどの問題が動画で扱っていますので、その問題についてはしっかりと理解をしてください。

- ①は、一見複雑だなという思う人も多いでしょう。全体の面積が変化しないことに注目します。
- ④は道の部分を端に整理していったときに、どのような形になるのかをしっかりと考えてください。
- ⑤・⑥は、【例題4】の応用版です。【例題4】自体が定着度が低い問題にあたりますので、解説をしっかりと見て理解してください。
- ⑧は4年生にとっては相当な難問です。条件が少ないだけに、あてはめで求めようとする人も多いでしょう。算数では少し特殊な考え方になるので、しっかりと解説動画を見てください。

### ③ 宿題などについて

【練成問題】の後【A問題】、【B問題】がありますが、ここは宿題となります。【B問題】はレベルの高い問題もありますが、がんばって取り組んでみてください。

## ◆第5回 平面図形(2)

### ① 【例題】と【練習】

【例題】はすべて動画が用意されています。

#### 【例題1】 正多角形の内角・外角

円周を等分し、それらの点をつないでできる図形を「正多角形」といいます。たとえば「正五角形」は円周を5等分した点をつないでできる図形で、5つの辺の長さも、5つの内角もそれぞれすべて等しくなります。正多角形の内角の大きさの求め方はさまざまありますが、正五角形を3つの三角形に分けて内角の和を求める方法や、円の半径をひいて5つの二等辺三角形をつくらせて求める方法などが一般的です。

また、外角は、はじめよく勘違いされやすい内容ですが、「内角と外角の和が180度」であることを理解してください。

#### 【例題2】 外角の定理

「三角形の外角は、それととなりあわない内角の和と等しい」という考え方が使えるようにしていきましょう。《ポイント》にのっている図形がイメージできるようにしてください。この形ですが「スリッパ型」と呼ばれることも多いです。

#### 【例題3】 二等辺三角形の発見①

角度の問題では、さまざまな条件から二等辺三角形や正三角形などを発見して解いてく問題が非常に多いです。これらを展開していくうえで重要なことは、「かいた図の中にわかる角度を書きこんでいくこと」「図の中に等しい辺などの記号を書きこんでいくこと」などがあげられます。

#### 【例題4】 二等辺三角形の発見②

【例題3】の応用ですが、「紙の折り返し」による角度の問題です。「紙の折り返し」では「角の移動先」を追っていくことと同時に「辺の移動先」も追っていくようにしま

しょう。そのためには【例題 3】と同様に「かいた図の中にわかる角度を書きこんでいくこと」「図の中に等しい辺などの記号を書きこんでいくこと」が重要です。

各【例題】の動画を見て理解したら必ず【練習問題】に自力で取り組んで答え合わせをし、間違っていたらどこで間違ったかをよく確認して、再度解き直しをするということを徹底してください。わかりにくくなった場合は再度【例題】の動画を見てみましょう。

## ② 【練成問題】

【練成問題】はほとんどの問題が動画で扱っていますので、その問題についてはしっかりと理解をしてください。

まず、基本的な正多角形の内角の和やひとつの内角の大きさなどは暗記してしまいましょう。その図形がでてくるたびに内角を計算するのでは、時間的なロスが生じます。覚えるべき正多角形の内角の1つの大きさは、主だったところでは正三角形(60度)、正四角形(正方形・90度)、正五角形(108度)、正六角形(120度)、正八角形(135度)、正十二角形(150度)などです。

4は、 $x$ 、 $y$ それぞれの角度が出せるわけではありませんので注意してください。

5は、はじめて解く人にとっては難問です。図1の五角形の辺を延長し、二等辺三角形をつくることをイメージしてください。

7は、角 $ABC =$ 角 $BCD$ の条件をどう使っていくかがポイントです。

8は、外角の定理と、二等辺三角形の角度の性質を使っていく問題です。

## ③ 宿題などについて

【練成問題】の後【A問題】、【B問題】がありますが、ここは宿題となります。【B問題】はレベルの高い問題もありますが、がんばって取り組んでみてください。